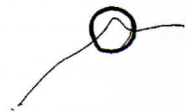


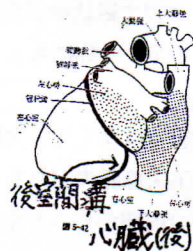
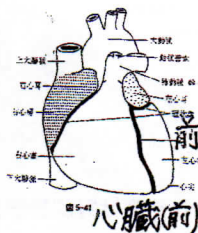
(左下の図参照)

※inverted U turn



↑室間溝を乗り越える
部位はこう見える。

後室間溝を超える時、動脈は溝に沿って上方に屈曲している。この屈曲を指す。この領域から二方向に重要な枝が出ているが、AV と PD を指す。



○**後下行枝** (Posterior Descending artery; PD)
室間溝(左心室と右心室の境)を乗り越え、流れる。(90%が左へ走向) ちなみにどこまで伸びるかは個人差。

○**円錐動脈** (Conus artery; CN)
右冠状動脈の最初の枝、動脈円錐の部位に分布。
※動脈円錐; 心室から動脈管に向かい三角フラスコ状は立ち上がっている。

役割⇒円錐動脈の起始部が閉塞している時、ここから右又は左へと血管を流す。

左冠状動脈 (Left Coronary Artery; LCA)

→左冠状動脈洞を出た後、心膜横洞の下を通り、表に姿を現し直ちに二枝に別れる。お互いの角度はほぼ直角である。

1 **前下行枝** (Left Anterior Descending artery; LAD)

○**対角枝** (Diagonal Artery; DA)

○**中角枝** (Septal Branch; S)

垂直にくしの歯のように円へつきささっている。房室結節動脈に達するものも多く、房室結節動脈が閉塞すると、中角枝が重要な意義をもつ。

2 **回旋枝** (Circumflex Artery; CX)

○**鈍角枝** (Obtuse Marginal artery; OM)

左心室表面の枝。

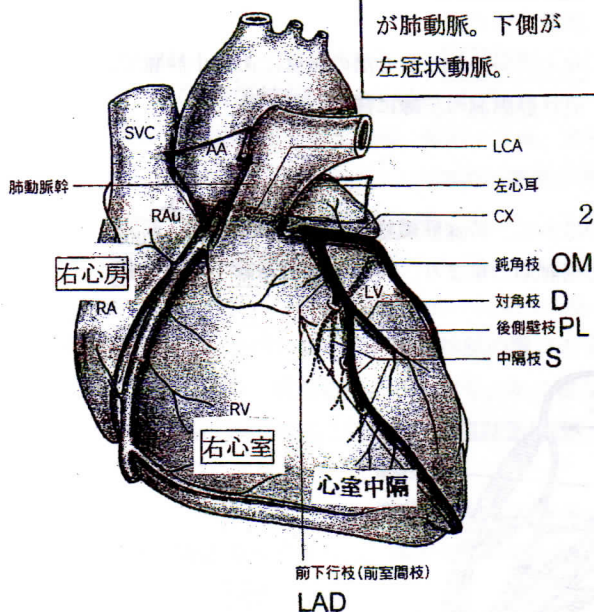
○**心房枝** (Atrial branch; A)

左房にいく枝。

○**後側壁枝** (Posterolateral artery; PL)

この図では裏側に回る、右心室外側の下側に分布する枝。

指を入れた時、上側が肺動脈。下側が左冠状動脈。



左冠状動脈